

# 令和8年度 第1回大津町地域公共交通会議

日時：令和8年4月27日（月）10：00～

場所：役場3階 会議室302

## 【事務局】

定刻となりましたので、ただいまより令和8年度第1回大津町地域公共交通会議を開催いたします。本日の進行を務めます事務局の蔵森です。よろしくお願いいたします。

役職の交代等に伴い、新たに委員をお願いしている方がいらっしゃいますのでご紹介させていただきます。資料の令和8年度大津町地域公共交通会議委員名簿をご覧ください。

町民又は利用者の代表として、

→大津町民生委員・児童委員協議会監事の元田正信様

→大津町身体障がい者福社会理事・監査の橋本昭彦様

→大津町PTA連絡協議会会長の西口加奈恵様

運送事業者として

→九州旅客鉄道株式会社熊本支社営業運輸課長の三浦徳彦様

熊本運輸支局長又はその指名する者として、

→国土交通省九州運輸局熊本運輸支局首席運輸企画専門官の谷口誠一様

熊本県の関係行政機関の職員として、

→熊本県県北広域本部総務部振興課審議員兼振興課長の野田尚裕様

→熊本県県北広域本部土木部部長の布田久雄様

町長が指名する者として、

→大津町役場健康福祉部長の中井雄一郎様

以上、8名の皆様はよろしくお願いいたします。

本来であれば金田町長より委員の皆様へ委嘱状をお渡しするところですが、時間の関係上、机上配布とさせていただきます。

委員の出席につきましては、過半数を超えておりますので、大津町地域公共交通会議設置要綱第5条第2項により、本日の会議が成立していることをご報告いたします。

それでは次第2会長挨拶です。本会議会長の柿本会長よりご挨拶をお願いいたします。

## 【会長】

皆さん、おはようございます。大津町はTSMCの進出以降、公共交通機関の整備が急務となっております。

私事ですが、先日台湾を訪問し、現地では公共交通機関を利用しました。台南から熊本まで帰ってくる時に8回乗り継いだのですが、やはり公共交通機関を利用する際は、交通結節点での乗り継ぎのしやすさや、多言語化が重要だと感じました。台湾では、英語、日本語、中国語等、多言語化が進んでおり、券売機においても日本語や英語での案内が整備されていました。

本日議題となる空港ライナーは、空港から熊本市内や阿蘇方面への玄関口となる、非常に重要な路線です。今回は有料化についての議論となりますが、今後も整備を進めていく必要がありますので、よろしくお願いいたします。

**【事務局】**

ありがとうございました。それでは、議事に入る前に会議資料の確認をさせていただきます。

～資料確認～

これから議事に入ってまいります。ここからの進行につきましては柿本会長にお願いいたします。よろしくお願いいたします。

**【会長】**

それでは、議事を進めてまいりたいと思います。

議事①令和8年7月以降の阿蘇くまもと空港ライナーの運行について、事務局より説明をお願いします。

～ 議事について事務局より説明 ～

**【会長】**

ただいまの説明に関しまして、ご質問やご意見はございますか。

**【委員】**

別添資料2の経路図では、ルートによって空港の停車場所が異なるように見えますが、実際はどうなりますか。また、資料8ページの運行車両について、ジャンボタクシー4台、普通車両5台とありますが、これらは事業者が保有されている車両でしょうか。今回の有償化に伴って運行する車両について、具体的に何台使われる想定かを教えてください。

**【事務局】**

空港の停留所は1箇所であり、資料上の表記によるもので、ルートごとに別の停留所を設けるものではありません。

車両はすべて事業者所有のものです。運行にあたっては、輸送力強化の観点から最低27名の輸送力を確保することとしており、ジャンボタクシー2台～3台での運行を基本とし、利用状況に応じて普通車両を追加投入する運用を想定しています。なお、必要に応じて協業事業者の車両も用いることも提案で受けております。

**【委員】**

基本3台で運行するとのことですが、駅で利用者が待っていて、ジャンボタクシーで積み残しが発生するおそれがある場合、あらかじめ駅に予備車両を待機させる体制となるのでしょうか。それとも、営業所から配車されるのでしょうか。

**【事務局】**

基本は3台で運行し、中間地点に予備車両1台を待機させる体制とする提案を受けています。空港や駅において利用者が多い場合には、この中間地点の車両が応援に向かうことで、積み残しが生じないように対応する運用としています。

**【委員】**

有償化の位置付けについて、収支率の向上を目的とするものか教えてください。また、今後の空港アクセス鉄道整備を見据えた需要調査などはされるのでしょうか。さらに、運賃を200円に設定する根拠について、アンケートでは単に金額を提示して選択してもらったものなのか、あるいは鉄道やリムジンバス、タクシーなど他の交通機関との比較材料を提示した上で質問されたものなのか教えてください。

**【事務局】**

まず、有償化の位置付けについてですが、利用者の増加に伴い、安定したサービス提供を継続する必要があります。燃料高騰などで運行経費が高くなる中、持続可能な運行を確保する観点から、鉄道開業までのつなぎとして安定運行を図るため、一定のご負担をいただきながら維持していきたいという考えです。また、今回の有料化及び200円という運賃設定により利用動向を把握し、今後の鉄道需要の予測にもつなげていきたいと考えております。

次に、アンケートの実施方法ですが、100円から500円までの複数の選択肢を提示し、どの程度であれば利用するかを回答いただいたものです。他の交通機関を並べて判断材料とするような、深い形での実施ではございません。

**【委員】**

これまでの運行状況、回数などが、有料化に伴いどのように変更されるのか、見通しを教えてください。

**【事務局】**

現在は上下計54便の運行ですが、有料化後は計65便に増便する予定です。サービス向上として、特に利用者が多い朝夕の通勤・通学時間帯において増便いたします。駅や空港での運行状況は特に変更はありません。

**【委員】**

航空便の到着を待つて発車するのでしょうか。それとも、あらかじめ運行ダイヤを設定されるのでしょうか。

**【事務局】**

基本的には各時間帯30分間隔での運行ダイヤを設定していますが、航空便及び鉄道便の到着に完全に連動したダイヤとはしていません。一方で、鉄道便の到着直後にライナーが発車してしまうことがないよう、これまでも運転手の判断により柔軟な対応を行っており、今後も同様のサービス水準を維持していきます。

**【委員】**

0分と30分という運行ダイヤを定めており、鉄道との接続に関しては、列車到着に応じて3分から5分程度待機して発車する運用としています。一方で、航空便については到着時刻に合わせた待機は行わず、定められた0分および30分の時刻に発車する運行としています。

**【委員】**

増便する12便の具体的な運行イメージを教えてください。

**【委員】**

朝夕の便を増やし、空港利用者だけでなく、西原村方面からの通勤・通学者や、空港駐車場利用者の取り込みも図ります。

**【委員】**

輸送力について、20分間隔の運行で27名を確保するとなると、ハイエース3台では不足し、6台から9台程度必要ではないかと思われませんが、確保できているのでしょうか。また、運賃について、路線バスは同区間400円で設定しており、採算性を踏まえたものとなっています。阿蘇くまもと空港ライナー運営協議会として、将来性や採算性をどのように見込んで200円に設定されたのでしょうか。さらに、大津町民への恩恵があってもいいのではないかと思うのですが、途中停留所を設ける考えはなかったのか、その理由について教えてください。

**【事務局】**

輸送力については、事業者から仕様書に基づき、提示した車両数で対応可能であるとの提案を受けており、責任を持って確保されるものと認識しています。

運賃の200円については、採算性を重視すると400円から500円となりますが、もともと空港サービスの一環として無料で運行していたものを有料化するにあたり、アンケートで最も多かった金額である200円からまずは開始し、利用動向を見極めていきたいと考えています。

途中停留所については、駅と空港を定時で結ぶ速達性を確保することを本事業の目的としているため、これまでと同様に設けない方針です。

**【委員】**

小児運賃を設定していない理由を教えてください。

**【委員】**

障がい者割引の検討をお願いします。

**【事務局】**

仕様書上は小児運賃や障がい者割引の設定を可能としていましたが、今回の事業者からの提案では一律200円となっております。本日のご審議の中で必要ということであれば、再度事業者と協議・検討いたします。

**【会長】**

詳細についてはこの後の運賃協議部会で検討をお願いします。

また、将来の空港アクセス鉄道開業に向けた繋がりが見えてこないとの懸念があります。鉄道の需要予測との整合性や、今後10年を見据えて輸送力や運賃をどう上げていくのか、考えを教えてください。

**【事務局】**

今回、初めて有料化に踏み切ります。利用者の増加を見込んでいますが、今回の形態で10年間運行することが決まっている訳ではありません。今後、さらなる輸送力強化が必要になった場合は、一定の利用者負担を求めつつ、供給面の整備・強化を検討していく必要があると考えています。現時点で鉄道開業を見据えた明確なロードマップはありませんが、需要動向を的確に把握しながら、運賃もいただきつつ、安定したサービス提供に努めていきたいと考えています。

**【会長】**

アクセス鉄道との整合性の整理や連携をお願いします。

それでは、運賃200円、便数について54便から65便への増便、複数ルートの設定という案で承認ということによろしいでしょうか。なお、運賃の詳細については運賃協議部会で検討をお願いします。

※異議なし

ありがとうございます。承認とさせていただきます。議事進行を事務局にお返しします。

**【事務局】**

ありがとうございました。委員の皆様におかれましては、円滑な議事の進行にご協力頂きありがとうございました。

引き続き、運賃協議部会を開催しますので、関係の委員様はそのままお残りください。

以上をもちまして令和8年度第1回大津町地域公共交通会議を閉会します。ありがとうございました。